

別府の温泉について

別府は、日本一の温泉湧出量をほこり、2,000 を超える源泉から毎分 80,000 リットル以上の温泉が湧き出ています。また別府は温泉の平均温度も日本一高く、多くの源泉の湯温は 90 度～100 度です。

別府温泉は、数億年前の地球内部での地熱活動により生み出されました。地殻変動によりプレートが沈み込み、それによって生み出された熱と圧力により九州の地下にマグマが形成され、そしてマグマが地下に貯まった水を温めます。この熱水が断層に沿って地表の割れ目から湧き出して温泉になります。

温泉の元となる地下水は、雨水によって定期的に供給されます。これは、この地域が扇状地で雨水が地中に吸収されやすいおかげです。その水は地熱で温められるだけでなく、岩石との化学反応によって様々な泉質の温泉となります。別府の温泉では、認知されている 10 種類の泉質のうち 7 種類の温泉に入ることができます。